

資料1
2021.10.25

①令和4年度概算要求の概要

グローバル人材育成のための大学の国際化と学生の双方向交流の推進



文部科学省

1. 大学教育のグローバル展開力の強化

令和4年度概算要求額：46億円（前年度予算額：43億円）

（1）大学の体制の国際化

令和4年度概算要求額：33億円
（前年度予算額：33億円）

「スーパーグローバル大学創成支援事業」

我が国の高等教育の国際競争力の向上とグローバル人材の育成を図るため、国際化を徹底して進める大学を支援。

- スーパーグローバル大学創成支援 33億円
37件（トップ型13件/グローバル化牽引型24件）（2014年度-2023年度）

（2）教育プログラムの国際化

令和4年度概算要求額：13億円
（前年度予算額：10億円）

「大学の世界展開力強化事業」

大学教育のグローバル展開力の強化を図るため、我が国にとって戦略的に重要な国・地域との間で、質保証を伴った学生交流等を推進する国際教育連携やネットワーク形成の取組を支援。

- インド太平洋地域等との大学間交流形成支援（新規）
（2022年度-2026年度：16件）
- アジア高等教育共同体（仮称）形成促進
（2021年度-2025年度：21件）
- 日-EU戦略的高等教育連携支援
<交流推進型/（プラットフォーム型）>
（2019年度-2023年度：3件）
- アフリカ諸国との大学間交流形成支援
<交流推進型/プラットフォーム型>
（2020年度-2024年度：8件）
- COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援
<交流推進型/プラットフォーム型>
（2018年度-2022年度：10件）

2. 大学等の留学生交流の充実（※経協予算）

令和4年度概算要求額：341億円（前年度予算額：335億円）

（1）大学等の留学生交流の支援等

令和4年度概算要求額：76億円
（前年度予算額：73億円）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている留学生交流の継続や再開に向けた取組等を支援する。コロナ禍においても、日本人学生が海外留学を継続できるよう必要な支援を行うとともに、ポストコロナ期を見据え、若者の海外留学への機運醸成を図る留学促進キャンペーン「トビタテ！留学JAPAN」の活動を推進する。

- 大学等の海外留学支援制度 75億円
<学位取得型> 大学院：300人 学部：205人
<協定派遣型> 18,006人（渡航支援金927人を含む）
<協定受入型> 5,000人
- 日本人の海外留学促進事業 0.8億円

（2）優秀な外国人留学生の戦略的な受入れ

令和4年度概算要求額：264億円
（前年度予算額：262億円）

「留学生30万人計画」の検証結果も踏まえ、質の高い国際流動性の実現に取り組む。特に、内なる国際化にもつながることから、優秀な外国人留学生を確保するため、日本留学の魅力発信を強化するとともに、「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」等を踏まえ、大学等における在籍管理の徹底を図りつつ、外国人留学生の国内就職に資する取組を支援する等により、外国人留学生の我が国への受入れを促進する。

- 日本留学への誘い、入り口（入試・入学・入国）の改善 13億円
・日本留学海外拠点連携推進事業 7拠点
- 受入れ環境づくり、卒業・修了後の社会の受入れ推進 240億円 等
・国費外国人留学生制度 11,371人
・留学生受入れ促進プログラム 7,420人
・留学生就職促進プログラム 3拠点

趣旨

世界的に学生の交流規模が拡大する中において、我が国にとって重要な国・地域の大学と質保証を伴った連携・学生交流を戦略的に進め、国際的通用性を備えた質の高い教育を実現するとともに、我が国の大学教育のグローバル展開力を強化する。

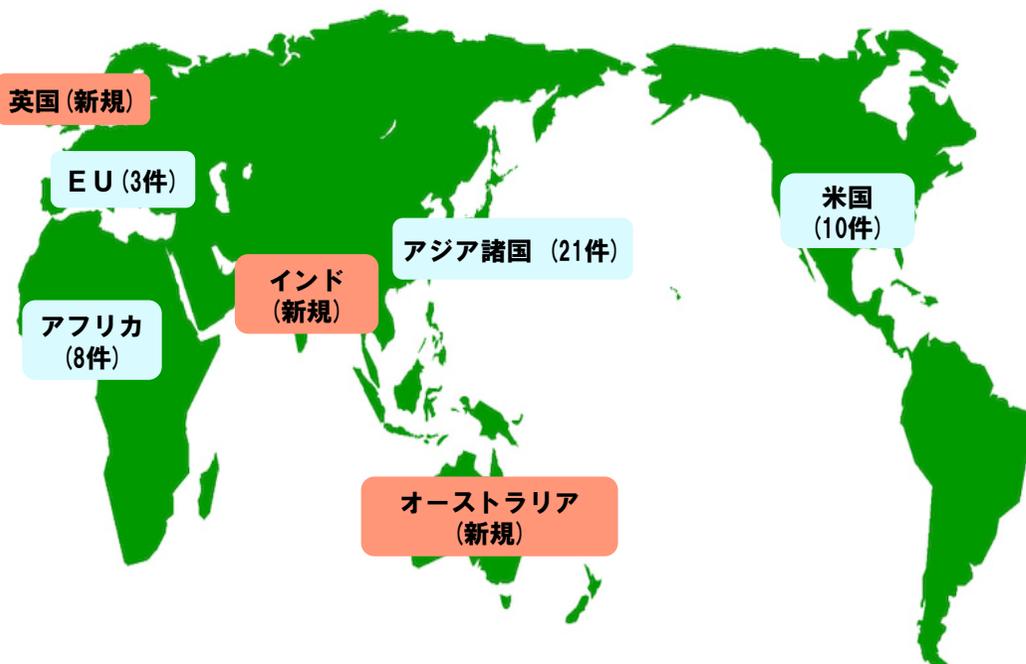
事業概要

地域毎の高等教育制度の相違を超え、単位の相互認定や成績管理、学位授与等を行う教育交流プログラムの開発・実施を行う大学を支援。これら質の保証を伴ったプログラムにより、日本人学生の海外派遣と外国人学生の受入を促進。(事業期間：最大5年間)

取組例

- ✓ 先導的大学間交流モデルの開発
- ✓ 高等教育制度の相違を超えた質保証の共通フレームワークの形成
- ✓ 単位の相互認定、共通の成績管理の実施
- ✓ 学修成果や教育内容の可視化

補助期間	対象国	金額
2018 ~ 2022	米国	1.9億円
2019 ~ 2023	EU	1.4億円
2020 ~ 2024	アフリカ	1.3億円
2021 ~ 2025	アジア諸国	3.1億円
2022 ~ 2026	インド太平洋地域等	4.8億円



新規件数は合計16件程度を想定

成果

1. 学生交流増による、留学生30万人受入、日本人学生12万人海外派遣（2020年まで）達成への貢献
2. 海外連携大学との教育プログラム構築・実施に伴う我が国大学のグローバルな展開力の強化
3. 交流の相手国・地域との平和的友好関係の強化

※上記の他、審査・評価等経費（0.4億円×1件）

大学の世界展開力強化事業 ～インド太平洋地域等との大学間交流形成支援～

令和4年度要求・要望額 5億円（新規）



背景・趣旨

- ◆ 新型コロナによる留学生市場のリセット（オンライン活用、英語圏優位からの変化、留学生多様化の模索）
- ◆ 予測困難な時代を迎える中で、自ら主体的に考え、責任ある行動をとり、**果敢に挑戦し続ける**個人を育てることが、高等教育の果たす役割としてより一層重要
- ◆ この機を逃すことなく、**英語圏からの優秀な留学生の獲得**に向けての基盤形成（初等・中等教育段階における日本社会・文化・言語等に触れる機会含む）、これに繋がる組織的・人的国際ネットワークに対する戦略的・集中的な投資の必要性
- ◆ **経済安全保障の観点**から、民主主義や人権、法の支配といった基本的な価値観を共有する国、かつ、国際競争力の土台となる**研究力の高い国**との間で、大学・学生間交流を促進し、戦略的な国際ネットワークを草の根の段階から強化することが極めて重要

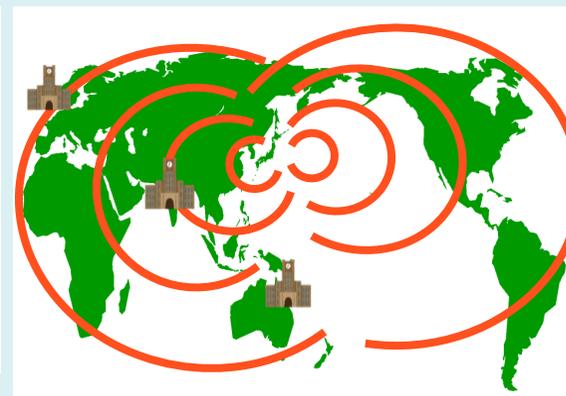
事業概要（事業期間：2022～2026年の最大5年間）

- 日本と、**オーストラリア、インド、英国**との間で、**2国間以上（左記の3か国に加え、米国、カナダ、ニュージーランド等との3か国以上の交流も可）の質保証を伴った大学間・学生交流プログラム**を構築
- 大学間協定等に基づき、**卓越した教育効果**を生む交流プログラムとするとともに、**多様な留学生**を戦略的に取り込む**バランスの取れた双方向型の学生交流**を実施
- 事業規模 **3,000万円×16件（各国5件程度）** ※

<取組（アウトプット）例>

- ・**学生が企画・立案する国際ネットワーク**の形成に繋がるような取組（学生サミットや学生ワークショップ等）
- ・**国際標準の連携教育プログラムや共同学位プログラムなどの多様な留学メニュー**の開発・提供
- ・実渡航の交流に加え、オンラインを活用した国際協働学習や、**「JV-Campus」を通じ、日本語・日本文化科目だけでなく教養・専門科目等の提供**
- ・受入地域の自治体や企業等と連携した**インターンシッププログラム**や、地域固有の課題等解決のため、**国内・国際学生の混成チームによる、起業につながるような実践型プログラム**の企画・実施
- ・日本への**留学フェアやバーチャル・キャンパスツアー等の広報活動**を、採択校だけでなく国内他大学と連携して実施するとともに、現地の高等学校等の教育機関への戦略的なリーチ活動の実施

※公募審査においては、採択大学の多様化を意識し、**地域バランス**や**採択実績の有無**にも配慮。



アウトカム（成果目標）

- 国際教育連携や大学・学生間国際ネットワーク形成の加速
- 語学力の向上だけでなく、協働による**異文化適応力やリーダーシップ**の強化による**グローバル人材**の養成
- オンライン交流や短期留学をきっかけとした、**中長期留学や学位取得型留学**への拡大
- **留学生層の掘り起こしとインバウンド需要の拡大**による、我が国大学の**多様性、国際通用性の向上**

インパクト（国民・社会への影響）

- グローバルな交流や視点の取り込みによる**新たな仕事・雇用の創出と経済成長**の実現
- 新たな留学生層の受入れ増による、**多様性のある社会**の実現に貢献
- 高い研究力を有する国と連携することで、国際共同研究を加速、両国の**国際競争力の更なる強化**に貢献
- 我が国が高等教育分野の**アジアのハブ**となることで、日本のプレゼンス向上と、世界の**パワーバランスの調和**に貢献

② 新型コロナによる留学生交流への 影響

新型コロナウイルス感染症による留学生交流の影響

INBOUND (受入れ)

外国人留学生

約28.0万人

(2020年5月1日時点)

高等教育機関	約21.9万人
大学・短大	約13.6万人
高専	約0.04万人
専門学校	約8.0万人
準備教育課程	約0.3万人
日本語教育機関	約6.1万人

出典：JASSO「外国人留学生在籍状況調査」



- ◆ 昨年の冬に発生した新型コロナウイルス感染症の影響により留学生の新規入国は停止していたが、昨年夏以降、**外国人留学生の新規入国が順次再開。**
- ◆ しかし、**本年1月の緊急事態宣言の発出を受けて一時停止。**
- ◆ 3月18日の新型コロナウイルス感染症対策本部において、**緊急事態宣言解除後も、当分の間「特段の事情」を除き本措置を継続**することとされた。 ※既に在留資格を有する外国人留学生は入国可。
- ◆ **国費留学生等の留学生**については「**特段の事情**」として、必要な防疫措置を行うことを条件に**段階的に入国を再開。**
- ◆ 引き続き、早期の入国再開に向け、新型コロナウイルス感染症の流行状況を注視しつつ、対応。

【参考1】外国人の入国拒否対象国・地域

2021年8月17日現在、外国人の入国拒否対象国・地域は160か国・地域。

【参考2】例年の新規入国者の規模（2019年の在留資格「留学」の月別入国者数）

2019年の年間新規入国者12.1万人。このうち、入国のピークは3月～4月、9月～10月の年間2回。

- ・ 2019年3月：約2.2万人
- ・ 2019年4月：約3.0万人
- ・ 2019年9月：約2.7万人
- ・ 2019年10月：約1.8万人

※在留資格「留学」の者には、正規課程だけでなく、短期のプログラム履修者も含まれる。

出典：出入国在留管理庁統計

新型コロナウイルス感染症による留学生交流の影響

OUTBOUND (派遣)

日本人留学生 (主に短期)
約10.7万人
(2019年度)

※このうち、6割超が1カ月程度の比較的短期のプログラムによる留学。

出典：JASSO「日本人学生留学状況調査」

【参考】

OECD等の2018年統計による日本人海外留学者数を集計したところ、**約5.9万人**であった。

出典：OECD「Education at a Glance」、ユネスコ統計局、IIE「Open Doors」等の統計を基に文部科学省が集計したもの。

- ◆ 現在、**全世界の約8割**に対し「**渡航中止勧告**」が出ている状況。また、**留学先の水際対策**により日本人学生が入国できない場合もある。
- ◆ 2020年11月に**海外大学の学位取得を目指す日本人留学生について、学生が渡航先の防疫措置を確認していること等を条件としてJASSO奨学金支援を再開**。
- ◆ 2021年6月15日の通知で、**大学間交流協定に基づく1年間（実際の派遣期間9か月以上）の留学プログラム再開**について、大学等における学生の安全確保等の留意事項を周知。同通知にて、「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」や大学間交流協定プログラム等による留学についても**8月渡航分から支援を再開**。今後、9か月未満の派遣期間のプログラムについても、国内外の感染症の流行状況や帰国時の水際対策の状況を踏まえ、段階的に再開を検討。
- ◆ 2021年6月15日以降、**「留学予定者ワクチン接種支援事業」**を開始し、大学拠点接種の枠組みの中で接種を支援。必要に応じて英語版接種記録保有証明を発行。

※ 9月10日ワクチン接種受付終了。

大学拠点接種の広がりや留学時期を踏まえ、証明書は当面継続予定。

【参考1】全世界の海外安全情報

2021年10月12日現在、**全世界の約8割（160か国・地域）が感染症危険情報レベル3**。それ以外の国・地域も感染症危険情報レベル2。

【参考2】各国・地域による日本人留学生等への入国制限措置

日本人学生の主な留学先のうち、10月12日現在、**豪州（第2位）、中国（第6位）、台湾（第8位）、フィリピン（第9位）**が日本人留学生への入国制限措置（豪州、中国は再入国を含め不可、台湾、フィリピンは新規入国が不可（新規査証発給の停止））

③大学の国際化促進フォーラム

背景 目的

- **我が国の高等教育における国際化施策はグローバル30からGGJ、そしてSGUと、弛むことなく12年が経過。**
SGUは事業開始7年目を終える中、各採択大学の構想の下、**国際対応力強化や国際通用性向上の取組みが多様な形で進展。**
- 一方、新型コロナウイルス感染症の世界的発生により国境を越えた移動が制限される中、**オンラインを活用した教育・交流が急速に進展。**
- 事業残り3年となる今、**国際化を牽引する大学群の多様な実績の横展開を強化する環境を整備することによりニューノーマルに向けた我が国の高等教育の更なる国際通用性・競争力の強化を図る。**

◆ ニューノーマルに向けて**SGU採択大学を中心に展開力採択校・希望する大学等による「国際化促進フォーラム」を形成。**

概要

- 我が国大学の国際化を**オールジャパンで促進する大学の主体的な活動の場**として、SGU採択校を中心に世界展開力採択校及び希望する大学・機関等がフォーラム会員となり、文部科学省等関係機関とも連携しつつ、**大学の国際化に関わる取組みや研究の実施・共有・展開、情報の提供・共有**を行う連携体
- **18大学による19プロジェクト**が活動の中心となり、**希望する大学が**自大学の国際化戦略等を踏まえプロジェクトに**参画**し、**プロジェクト間においても更に有機的な連携**を進めることで、新たなグッドプラクティスを生み出し、我が国高等教育全体の強靱かつ多様な国際化を促進。
- **SGU事業終了後（R6～）は、自律的運営組織へと発展**させることを前提とする。

プロジェクト全体をつなぐ、オールジャパンで結成する日本発オンライン国際教育プラットフォーム「JV-Campus(仮称)」他、リクルート、カリキュラム、キャリア教育等の多様なプロジェクト構成

フォーラム 会員

SGU

展開力

希望大学等

関係団体

108機関が加入

MEXT(オブザーバー)

幹事会

リアルな情報や課題等の共有・蓄積・協議・発信の場

代表幹事校（東北大学）

副代表幹事校（筑波大学）

事務局幹事校（立命館大学）

幹事校15大学

協力等

【産業界】

【MEXT】
(オブザーバー)

制度改正等も必要に応じ検討

参画
協力等

【関係団体】
(大学関係団体、国際大学ネットワーク等)

大学の国際化促進フォーラム プロジェクト構成

オールジャパンにより多様なコンテンツを世界に発信する

日本発オンライン国際教育プラットフォーム 「Japan Virtual Campus(仮称)」

幹事校：筑波大学 ※19プロジェクトをつなぐ中核プロジェクト

Assessme

国際交流プログラムの効果の客観的評価テスト開発及びその普及 —BEVI および因果推論を用いた留学・学習効果の客観的測定・教育プログラムの質保証・PDCA・教育的介入—

広島大学

創価、関西、東洋

Strategic planning

国際競争力強化に向けた「戦略的パートナーシップ」のネットワーク構築

東京大学

東北、京都、大阪、九州、早稲田

DEVELOPMENT OF EDUCATIONAL PROGRAMS

- オンラインの活用を主軸とした新たな留学・交流の展開

大学間協働による学生国際交流プラットフォーム構築プロジェクト

法政大学

大妻女子、共立女子、二松学舎、東京家政学院

海外拠点×オンライン×実留学のグローバルシナジー・モデルの構築

明治大学

- グローバルPBLの展開

イノベーション創出のためのグローバルPBLの横連携・展開(手法と共有と共同実施)

芝浦工業大学

デザイン思考にもとづくPBLチームワーク型国際協働学習プログラムの促進

千葉大学

- ジョイント・ディグリー・プログラムの促進

学士課程におけるジョイント・ディグリー・プログラム等の国際連携による学位プログラムの質向上と高大連携の促進

立命館大学

我が国の大学教育国際化に資するジョイント・ディグリープログラムの促進 ~全国大学ジョイント・ディグリープログラム協議会による推進~

名古屋大学

岐阜

RECRUITMENT OF INTERNATIONAL STUDENTS

世界と伍する修士課程プログラム創出/運営のための課題と工夫

東京医科歯科大学

多様な文化・言語圏からの留学生リクルート:バーチャル大学ツアーの実施

大阪大学

- 英語力の向上

「リンガフランカ(国際語)としての英語」運用能力を測定するためのCBT英語スピーキングテスト実施プログラムの横展開

京都工芸繊維大学

- COIL型教育の展開

Japan Multilateral COIL/VE Project (J-MCP)-多方向・多国間 COIL/Virtual Exchange型教育プロジェクト

関西大学

COILを活用した持続的グローバル・イノベーション人材育成プロジェクト

琉球大学

南山、OIST、札幌学院

- 日本語教育の新展開

オンライン日本語教育の提供を通じた大学海外拠点・オフィスの協働化プロジェクト

東京外国語大学

東洋大学「ビジネス日本語」オンライン講座を通じた高度日本語人材の育成

東洋大学②

- 共修型教育の展開

国際共修ネットワークによる大学教育の内なる国際化の加速と世界展開

東北大学

福島、東京外国語、信州、大阪、神戸

アジア・太平洋地域におけるオンライン協働教育;UMAPを基盤とするSDGsオンライン協働学習とバーチャル模擬国連

東洋大学①

関西、テンプル大学ジャパン、ミシガン州立大学

CAREER DEVELOPMENT

地方の国際化と活性化を推進する留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト

金沢大学

信州、富山、福井、北陸先端、北陸、金沢星稜

●オンライン国際教育プラットフォーム事業 「Japan Virtual Campus (仮称)」 イメージ

「日本発の国内外大学で構成するコンソーシアムによるオンライン科目の発信」

背景目的

- 新型コロナウイルス感染症拡大の中で、**教育のオンライン化が世界的に一挙に進展**。留学生及び研究者の流れも大きな変化の見られる様相。
- 今後は、国際教育においても、**リアルな教育・交流の価値を高める、オンラインを活用した教育・交流の可能性を如何に引出すかが重要**。
- **ニューノーマルにおける我が国の高等教育の国際教育・交流の環境として、オンライン教育を活用した留学に繋がる環境整備**を行う。
- これにより、**優秀な外国人留学生の確保、日本人留学生の新たな留学環境の整備等、国際競争力ある教育環境**に貢献。

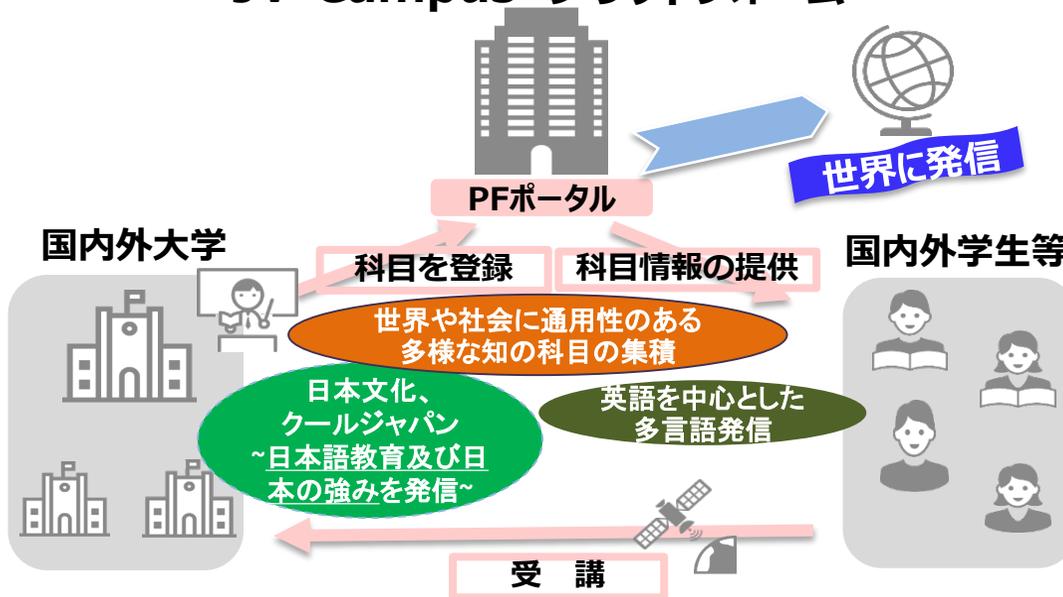
概要

- ☑ 国際競争力ある教育を**オンラインで国内外に開放できるプラットフォームを構築し**、海外に向けては**日本の強みと魅力ある教育を提供しつつ、大学間においては優れた教育リソースを共有**。国際競争力のあるハイブリッド教育にも繋がる環境を整備
- ☑ **外国語**による授業から**日本語教育及び日本の強みを発信する授業等**まで、**多様な授業を集積し、多様なスキームを包含するシステム**（※）を構築

※スキームのイメージ

- 個別協定を結ぶことなく**単位互換が可能な仕組**
- 単位認定は伴わないが**履修証明を行う仕組**
- 一定のスキームに
応じる大学同士が
活用する**単位互換制度等**
- 他大学オンデマンド講義を自大学科目として扱える仕組

JV-Campus プラットフォーム



開放性ある多様なスキーム

- ① 世界・社会に開かれた**無料講座**
- ② **履修証明科目**【サーティフィケート】(有料・無料)
- ③ **単位認定科目**【マイクロクレデンシャル】(")
- ④ **学位取得に繋がる科目群** 等

多様なオンライン形態

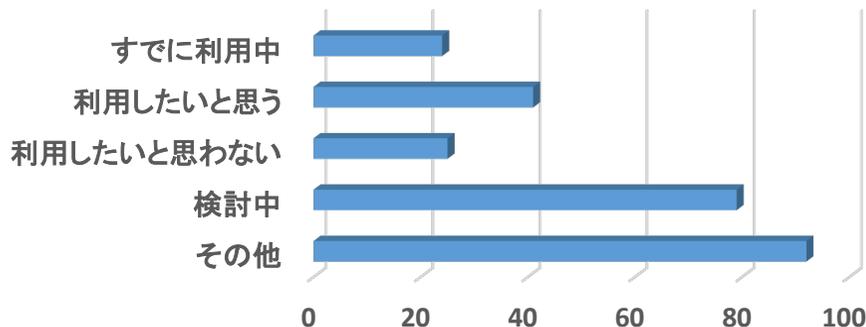
- ① **オンデマンド講義**
- ② **双方向のオンライン講義**
- ③ **オンライン共同演習** 等

期待される効果

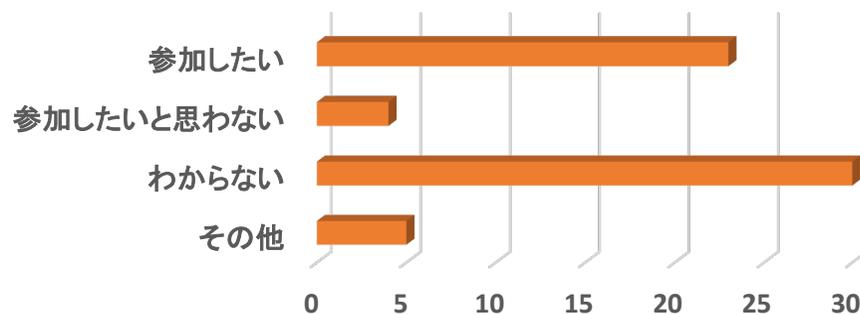
- **優秀な外国人留学生確保、ニューノーマルな留学環境整備に貢献**
- 自大学の強みを国内外にアピールし**ブランド形成とインバウンドに寄与**
- 自大学にない科目を享受。**アウトバウンドや大学全体の国際的価値の向上、教育コストの効率化による経営強化**
- グローバルな視点で**地域社会をリードする人材の創生、リカレント（職業スキル）教育への貢献を加速**。

ニューノーマルにおける大学のオンライン教育プラットフォームへのニーズの高まり

教育課程の中で、外部のオンライン教育プラットフォームを活用したいか？



広く一般に遡及可能な外部のオンライン教育プラットフォームでコンテンツを発信したいか？



筑波大学による国公私立大学へのアンケート調査結果より(2021年8月実施)

オールジャパンで結成する国際的なオンライン教育プラットフォーム (JV-Campus)

オールジャパンで多彩で魅力ある戦略的科目群を構成し、世界に発信。

世界や社会に通用性のある多様な知の科目の集積

～日本語教育及び日本の強みを発信～



英語を中心とした多言語発信

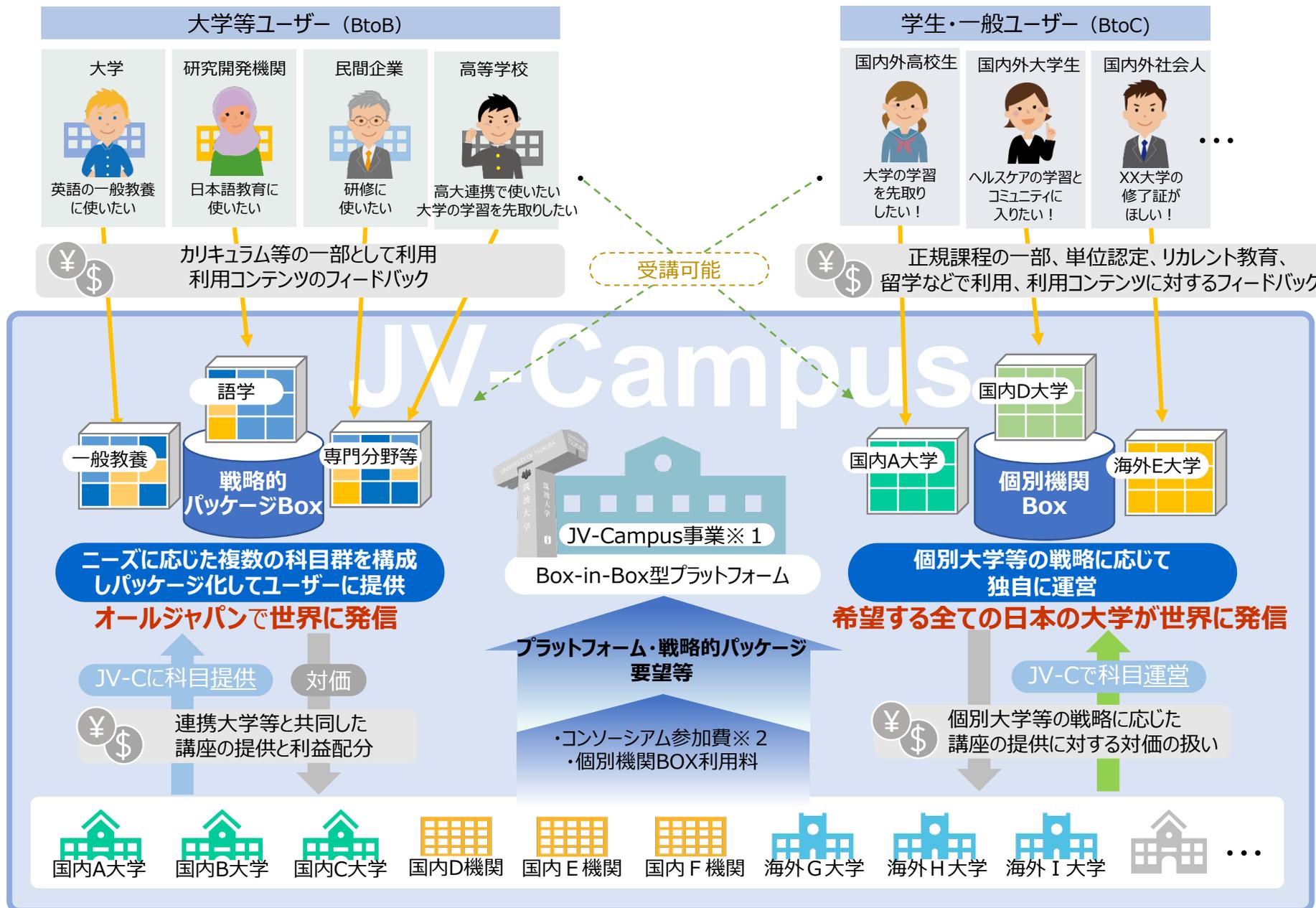
希望する国内外の大学が、自大学の強みある教育コンテンツを世界に提供。

- ☞ 「各大学専用BOX」の提供とサポート
- ▶ プラットフォーム環境システム提供
- ▶ ポータルサイト機能の提供

事業プロセス

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
<ul style="list-style-type: none"> ● 事業戦略策定 (大学等ニーズ調査実施: 8月～9月実施) ● プラットフォーム構築 <ul style="list-style-type: none"> ▶ JV-Campusプロトタイプ版立上げ (9月末予定) ● テスト版の運用開始 (2022年初頭予定) ● パイロット科目の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ● パイロット事業開始 ● 事業評価・見直し ● 運営事業体設立 	<ul style="list-style-type: none"> ● パイロット事業継続・拡大 ● 事業評価・見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本格事業開始 ● 運営事業体への完全移行

その先へ



JV-Campus開設準備ポータル (<http://jv-campus.com/>)

大学の国際化促進フォーラム
国際的オンライン教育プラットフォーム「JV-Campus(仮)」開設準備ポータル

Empower 知(Wisdom)

Evolve learners and organizations, by weaving
and circulating wisdom together



2022年初旬パイロット事業開始予定

JV-Campusでは、国際的競争力のある様々な
コンテンツを配信していく予定です。



筑波大学は未来を構想し、その実現に挑む
フロントランナーです。

筑波大学は開かれた大学、学際融合・国際化への挑
戦を建学の理念とする、未来構想大学と自らを位置
づけます。文系・理系から体育、芸術に及ぶ学問を
探究し、グローバル・リーダーの育成を目指す、真
の意味での総合大学=Universityです。最先端研究拠
点TSUKUBAの中核として、人類が共存共栄する世界
の実現に向かって行動します。

筑波大学のオン
ラインコンテンツの紹
介ページ

多彩なオンライン教育

<p>Course Jukebox</p> <p>科目ジョークボックス(CJ)とは、筑波大学とCampus-in-Campus(CIC)パートナー大学が授業科目を提供し合い、共有するシステムです。</p>	<p>がんプロ e-learning Cloud</p> <p>プログラムジョークボックス(PJ)は、全国のがんプロ拠点が一元的、時間的、組織的な壁を持った課題を乗り越えるためのプラットフォームです。</p>	<p>CEGLOC</p> <p>基礎教育としての外国語教育(英語、初級外国語:ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、朝鮮語)、日本人学生の国際教育、留学生の日本語教育を</p>	<p>CRICED</p> <p>連続20講(英語):8か国の著名研究者との協同講義。教材用語を解説し、意味と手続を、総合発展、問題解決を導</p>
---	---	---	---

<p>筑波大学 Course Jukebox がんプロe-learning cloud CEGLOC CRICED OCW</p>	<p>徳島大学 グローバルバージョン集中プログラム(CRP) 日本人英語習得のための自校英語学習支援プログラム</p>	<p>東京医科歯科大学(TMDU)</p>
<p>千葉大学 未来産業と先端工学 イノベーション・デザイン 実習特講</p>	<p>西九州大学 オンラインプログラム グローバルPBL (Project Based Learning)</p>	<p>芝浦工業大学 オンラインプログラム グローバルPBL (Project Based Learning)</p>
<p>関西学院大学 AI活用人材育成プログラム</p>	<p>関西大学 上智大学 上智大学西台キャンパス 上智大学学習サイト Sophia Professional Studies (社会人プログラム)</p>	<p>上智大学 上智大学西台キャンパス 上智大学学習サイト Sophia Professional Studies (社会人プログラム)</p>
<p>北海道大学 Hokkaido Summer Institute</p>	<p>東洋大学 ビジネス日本語ポイント講座</p>	<p>大阪工業大学 国際PBLプログラム(専攻中)</p>
<p>金沢大学 研究紹介動画「ココカラ」</p>	<p>近畿大学 KICS (Kindai Creative Studio) オンデマンド授業</p>	<p>会津大学</p>
<p>International Communications Council ケンブリッジ大学フィッツウィリアム・カレッジ卒業 交換留学実習プログラム ケンブリッジ・イェール・オックスフォード・プログラム オックスフォード・ディベート・キャンパス インフラストラクチャー・コミュニケーションコース インターナショナル・ビジネス・キャリアコース</p>	<p>ICCインターナショナル・コミュニケーションズ・カウンシル</p>	

16機関参加
(10/11時点)